

食品ロス対策の取り組み～日本とデンマーク～

青森県立弘前高等学校 : hygge

1. はじめに

フィールドワークの目的

今日、世界では食品ロスが大きな問題となっている。年間で世界の食糧生産の3分の1にのぼる約13億トンが廃棄され、日本でも年に523万トンの食糧が廃棄されている。この現状を改善するために食品ロスへの取り組みが進んでいるデンマークへ渡航し、現地で学んだ取り組みや、人々の意識、考えを日本の食品ロス問題に活かすことが、このフィールドワークの目的である。

2. フィールドワーク計画

- (1) デンマーク、日本、青森県の食品ロスの現状について調べ、まとめる
- (2) デンマークで行われている取り組みを調べ、調査場所を決める
- (3) 調べたことを元に現地で調査を行う
- (4) 調査結果から考察し、課題や改善方法を考える

3. 実施結果

(1) デンマーク、日本、青森県の食品ロスの現状と考察

○現状

・年間1人当たりの食品廃棄量は表のようになり、デンマークと比較すると日本は3倍、青森県は約4.7倍に及ぶ。(下図)

	デンマーク	日本	青森県
年/kg	14	42	66
日/g	39	114	182

○日本の現状

- ・国全体での食料の年間廃棄量(523万トン)は国連が行っている食糧支援(480万トン)を上回っている
- ・全体の食品ロス量は国民一人ひとりが毎日おにぎり1個分を捨てていることに相当する
- ・様々な取り組みが行われているが、認知度の低さが課題となっている

○青森県の現状

- ・年間で約8万5千トンに上り、1人1日当たりの量は全国値の約1.6倍になる
- ・家庭から出される生ごみの4割が未使用の食材や食べ残しである

○考察

- ・意識や消費行動を調査することで日本や本県の食品ロス削減に繋がるのではないか
- ・デンマークは日本と同じく先進国であり、青森県と同様に一次産業が盛んな国であるため、参考にすることができる制度や取り組みがあるのではないか

(2) デンマークで行われている取り組み(調査先の概要と選択理由)

① WEFOOD

WEFOOD は世界初の食品ロス対策専門のスーパーであり、賞味期限切れなどの理由で通常の店では販売できなくなった商品を低価格で販売している。店舗スタッフはボランティアで行っていて、売り上げは支援を必要とする人々に寄付している。

世界初の取り組みである点やフードバンクなどのような制限が無く、誰でも自由に買うことができるという点に着目し、節約と同時に手軽に食品ロス削減を行うことができるこの取り組みから学びを得たい。

② Rub&Stub

元は、本来廃棄となる素材(野菜の皮など)のみを使用した料理を提供するレストランを運営していたが、現在はコンサルタント業務を専門に食品ロス削減に貢献している。

どのような考えを持ち、どのような形で活動を行っているのかを知ること、効果的な削減方法や啓発活動について学びたい。

③ TOO GOOD TO GO

TOO GOOD TO GO はデンマークで開発された食品ロス削減アプリであり、地域の店で売れ残った商品を低価格で買い取ることができる。デンマークを中心にヨーロッパや北米の17か国で導入されており、アプリユーザーは9000万人以上、導入店は15万店舗以上、累計3億食以上の食品ロス削減を果たしている。地域の店と連携しているため、地域経済にも貢献することができる。

このアプリの利用について調査し、日本の類似アプリの認知度向上や地域との連携の参考にしたい。

④ 現地高校生との対談

デンマークの同年代の人々が食品ロスに対してどのような考えを持っているのか、何か行動しているか、どのような教育が行われているかなどを知ることによって、日本とは異なる視点からの意見を得たい。

(3) 現地調査を通して知ったこと

① WEFOOD

- ・ これまでに473トンの食品ロス削減に貢献している
- ・ 本来は廃棄されるはずの商品を売り、支援を寄付に回すことで食品ロス削減と支援を同時に行っている

→ 寄付先の支援はNGOと協力して行い、最終的には自立できるようにサポートしている

- ・ 商品が余った場合は、お金がなく食料が買えない人たちへ無償で配布している

② Rub&Stub

- ・ 近年意識改革が徐々に進んできているが、食品ロス削減の方法の広まりは足りていないと感じたため、活動を始めた

- ・ 食の専門家を育成し、社会生活の中での指標となってもらうことで、社会全体に知識や意識を広めることを目標としている

- ・ 大きなイベントと協力してイベント内で出た余剰品を回収し、支援に回すことで破棄をふせいでいる

- ・ データを集めることで食品廃棄が発生する流れを研究し、防止法の確立に役立っている

③ TOO GOOD TO GO

- ・食料品を安く買うことができるため、利用する家庭が多い
- ・学生も利用する
- ・ご年配の方から小学生くらいの子供が知っているくらい認知度が高い
- ・飲食店のみでなくホテルのバイキングも提携先としてある(私たちが利用したホテルも提携していた)
- ・町を歩いていると高い頻度で広告を見かけた

④ 現地高校生との対談

○普段から行っている食品ロス対策

- ・賞味期限が近い食品を選んで購入するよう心掛けている
- ・飲食店で食べきれない料理を持ち帰る(責任は客側にある→日本との違い)
- ・家庭で出た生ごみを、コンポスターを利用して肥料にする
(コンポスター…生ごみや落ち葉などの有機物を微生物の働きを利用して発酵、分解して堆肥を作る)

○学校教育

- ・SDGsに関する探究授業の一環で食品ロスが取り扱われる

4. 考察

- ・WEFOODのような仕組みは食品ロスの問題点である「食の不均衡」の改善に繋がる
→この仕組みを県や市区町村などの国より狭いコミュニティでも活用することができるのではないか
- ・コンポスターの利用は肥料を使う畑などがあり、生ごみの廃棄量が多い青森県に合った削減方法だと感じた
- ・アプリや制度の利用促進には一時的な報道だけでなく継続的な宣伝も必要だと感じた
- ・意識改革が重要となっていく
→自らの意思で購入し消費する機会が多い私たちのような高校生や大人が一人ひとり考えて食料を消費しなければならない
→加えて、幼いうちから教育をしていくことによって食品ロス削減に対する意識を強め、将来的な食品廃棄量を減らすことが大切だ

5. アンバサダー活動

○全体

- ・青森県を紹介するパンフレットを英語で作成し、現地で配布(大使館にも置いていただきました)
- ・こぎん刺しストラップを作成、協力していただいた方々にプレゼント
- ・弘前さくらまつりとねぶたの動画を作成

○補習校

- ・子供向けのスライドを作成し、青森県の魅力を紹介
- ・弘高ねぶたを紹介し、ねぶた囃子を演奏

○在デンマーク日本国大使館

- ・デンマークで行われているサクラフェスティバルと弘前さくらまつりの情報交換
- ・アップルレザーの紹介 (アップルレザー…りんごを加工する際に出た搾りかすを再利用して作られた革、食品廃棄物の有効利用例として紹介)

6. エバンジェリスト活動

- ・校内発表
- フィールドワークを通して得た学びを1,2年生に向けて発表
- ・インスタグラムの利用
- 自チーム専用アカウントを作成し、食品ロスに対する知識や活動報告を発信
- ・食品ロス削減を推進するポスター、パンフレットの作成と配布
- 子供用と大人用の2種類(小学生を含めより多くの人に伝わるように)
- ・御協力いただいた企業様への活動報告

7. 学びと成長

○行動面・精神面

- ・行動力、企画力がついた
 - ・物事に積極的に挑戦できるようになった
 - ・社会との関わり方、接し方を学んだ
 - ・言語理解の難しさを実感
- 伝える力や相手を理解しようとする姿勢を身につけることができた

○知識面

- ・食品ロスに対する知識、関心が深まった
- ・デンマークの文化や制度と消費行動の繋がりを実感することができた
- ・知識を持つだけでなく、行動に移すことの大切さを学んだ

8. まとめ

このフィールドワークを通して様々なことを経験し、成長することができた。実際に現地へ行ったり、自分からたくさんの人に関わったりすることでしか得られない学びも多くあった。また、食品ロスはたくさんの人々の消費行動が繋がって生じる問題であり、1人の力で解決するのは困難であることを改めて感じた。個人でできることは多くないが、その行動の積み重ねによって食品ロス量を減らすことができる。今回デンマークで学んできた多くのことを活かして私自身も普段から食品ロス削減を心がけ、自分にできることを探しながら啓発活動を続けていきたい。

9. 参考文献(2025.3)

農林水産省 <https://www.maff.go.jp/>

総務省 <https://www.soumu.go.jp/>

消費者庁 <https://www.caa.go.jp/>

青森県庁ホームページ <https://www.pref.aomori.jp/>

デンマーク大使館 <https://denmarkfood.jp>

SDGs コンパス <https://sdgs-compass.jp/>

TOO GOOD TO GO <https://www.togoodtogo.com/>

UN Environment Programme <https://www.unep.org>

国連食糧農業機関 <https://www.fao.org/japan/jp>

国連統計 <https://www.unstats.un.org/UNSDWebsite/>